

令和元年度 立正大学心理学部公開講座

Rissho University Faculty of Psychology OPEN LECTURE 2019

# 愛と正義と暴力と ～過激主義の社会心理学～



**日時** 11月9日(土) 10:45～12:45

**会場** 立正大学 品川キャンパス 石橋湛山記念講堂

共催 立正大学心理学部・品川区  
(パートナーシップ講座)

令和元年度 立正大学心理学部 公開講座

# 愛と正義と暴力と：過激主義の社会心理学

11月9日(土) 開場10:15 開演10:45 終了12:45

オウム真理教に関わる事件のすべての裁判が終結し、死刑執行を含む重い刑罰が執行されている。一般に弁護士一家殺人、毒ガス兵器を用いたテロ的な暴力は未曾有の出来事であったとみなされるが、この集団の過激な活動を社会心理学はどう理解して意味づけたのだろうか。日本では、この一連の事件から20数年過ぎる中、オウム真理教がいかなる集団であったかをあらためて説明しないと知らない世代も多くなってきた。

しかし、現代世界を見れば、宗教などの思想に基づく同類の過激な集団活動は偏在して見られる現象であり、歴史的にも繰り返されてきた。社会心理学は、その心理を説明し予測する責務を負って発展してきた経緯があることは多くの方々に知られている事実である。

そこで本企画では、愛や正義という名に潜むイデオロギーや思想とその偏見的理解と過激化との関係を現在の海外事例などを敷衍しながら検討していく。はじめに3名の先生方からご講演いただき、それぞれのご講演の論点や要点を指定討論の先生に小括していただく。そして最後に、過激な思想集団をどのように位置づけて研究することが、社会の未来に貢献する社会心理学の理論的發展につながるのかを議論したい。

## 講演「オウムやISのカリスマ的支配における過激な行動原理」

立正大学 心理学部 対人・社会心理学科  
教授 西田 公昭 (にしだ きみあき)

過激な集団活動の実行役は、貧困に育ったという事情ではなく、案外知的で教養も高いと言われている。そんな彼らがどのような心理過程を経て、自らの命や人生を犠牲にさえして違法あるいは暴力的な行動に従事するに至るのか、オウム真理教の事件関与者の心理を事例にしながら過激主義の本質を理解したい。



### 講師プロフィール

#### ■ 最近の研究成果

- ・ マインド・コントロール 松田幸弘(編) 人間関係の社会心理学 晃洋書房 2018
- ・ 高齢者のなりすまし電話詐欺の被害心理 越智啓太(編) 高齢者の犯罪心理学 誠信書房 2018
- ・ Psychological Abuse Experienced in Groups Scale: Psychometric Properties of the Japanese Version. *Japanese Psychological Research*, 60(1), 13-24, 2018

#### ■ 学会活動・社会的活動

- ・ 日本グループ・ダイナミクス学会 会長
- ・ 日本脱カルト協会 代表理事
- ・ 国連安保理テロ対策実行委員会 研究パートナー

#### ■ 研究テーマ

- ・ カルト集団の心理
- ・ 消費者保護の心理学的研究

## 講演「サリンによるテロ被害の悲惨さ」

筑波大学 人間系  
名誉教授 松井 豊 (まつい ゆたか)



オウム真理教が1995年3月におこした地下鉄サリン事件について、地下鉄サリン事件被害者の会とオウム真理教犯罪被害者支援からの依頼を受けて、被害者・被害者家族の身体症状やストレス状態に関する調査を行った。有効回答者317名の外傷性ストレス症状(IESR-J)のハイリスク率は、被害者本人は29%、被害者家族は59%であった。

### 講師プロフィール

#### ■ 最近の研究成果

- ・ 竹中一平・落合萌子・松井豊(2018). 違法・有害情報対策従事者の職務ストレスの実態と

その関連要因 社会心理学研究, 33, 135-148.

- ・松井豊 (2018). 東日本大震災における心理学者の支援活動と研究の概観 心理学評論, 60, 295-300.
- ・Nakamine, S., Kobayashi, M., Fujita, H., Takahashi, S. & Matsui, Y. (2018). Posttraumatic stress symptoms in victims of the Tokyo subway sarin attack: twenty years later. *Journal of Social and Clinical Psychology*, 37, 794-811.

#### ■ 学会活動・社会的活動

- ・内閣府政策統括官(共生社会政策担当)・平成 27 年度「ひきこもりに関する実態調査」企画分析委員 (中高年のひきこもりの実態調査)
- ・一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会「メンタルヘルス対策専門派遣事業」専門員 (平成 23 年 7 月豪雨の被災地公務員や熊本大分地震の被災地公務員への心理教育など)
- ・総務省消防庁 緊急時メンタルサポートチーム委員 (群馬県防災ヘリ事故関係消防職員、東日本大震災被災地消防職員・消防団員・保健師・看護職員への危機介入)

## 講演「テロリズムの社会心理学の現状と課題」

福岡大学 人文学部 文化学科

講師 縄田 健悟 (なわた けんご)

欧米のテロリズム研究では、社会心理学の視点から過激化した集団暴力と集団間紛争の一つの形態としてテロリズムが捉えられ多くの研究が行われている。本講演では、テロリズムを理解するために社会心理学の理論や概念がいかに応用されているかを紹介するとともに、日本の社会心理学者としての貢献可能性を議論したい。



#### 講師プロフィール

##### ■ 最近の研究成果

- ・Nawata, K. (2019). A glorious warrior in war: Cross-cultural evidence of honor culture, social rewards for warriors and intergroup conflicts. *Group processes & Intergroup Relations*
- ・縄田健悟 (2019 予定) テロリズム発生における社会心理学的メカニズム 越智啓太(編)テロリズムの心理学 誠信書房
- ・Nawata, K. & Yamaguchi, H. (2013). Intergroup retaliation and intra-group praise gain: the effect of expected cooperation from the in-group on intergroup vicarious retribution. *Asian Journal of Social Psychology*, 16, 279-285.

##### ■ 研究テーマ

- ・集団間紛争と集団暴力
- ・組織において高業績をもたらすチームワーク

## 講演「イデオロギーと過激化の集団過程」(指定討論)

名古屋大学大学院 情報学研究科

教授 唐沢 穰 (からさわ みのる)

道徳的価値観やナショナリズムなどが持つイデオロギー的な性質について自身も研究を進めてきた立場から、各講演によって示された集団行動とその過激性の源泉について社会心理学的な理解と対処の可能性について議論したい。



#### 講師プロフィール

##### ■ 最近の研究成果

- ・Karasawa, M., Asai, N., & Hioki, K. (2019). Psychological essentialism at the explicit and implicit levels: The unique status of social categories. *Japanese Psychological Research*, 61, 107-122
- ・Matsuo, A., Sasahara, K., Taguchi, Y., & Karasawa, M. (2019). Development and validation of the Japanese Moral Foundations Dictionary. *PLOS ONE*, 14(3): e0213343
- ・唐沢穰・松村良之・奥田太郎(編著)(2018)『責任と法意識の人間科学』勁草書房

##### ■ 学会活動・社会的活動

- ・日本社会心理学会常任理事(2009-2013, 2015-2017 年)
- ・日本心理学会国際委員(2005-2009, 2015-2019 年)
- ・国際比較文化心理学会第 23 回国際大会 組織委員長(2016 年)

# 募集要項

- ◆ 対象：16歳以上
- ◆ 定員：100名（定員を超えた場合は抽選）
- ◆ 受講料：無料

## ◆ 申込方法：

① **往復はがき** 往復はがきに、講座名「立正大学心理学部公開講座」・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・連絡先電話番号をご記入の上、〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区文化観光課 生涯学習係までお申し込みください。

② **電子申請** 品川区ホームページの「電子申請」ページから申し込みできます。

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

◆ **申込期間**：令和元年9月21日（土）～10月18日（金）

※締切日を過ぎた場合は、お電話にてお問い合わせください。

◆ **問い合わせ**：品川区文化スポーツ振興部 文化観光課 生涯学習係 Tel 03-5742-6837 Fax 03-5742-6893  
**当日の問合せ** 立正大学心理学部事務室 Tel 03-3492-6196

※ ご提供いただいた個人情報は、「立正大学心理学部公開講座」以外には使用いたしません。

〈往復はがき記入例〉

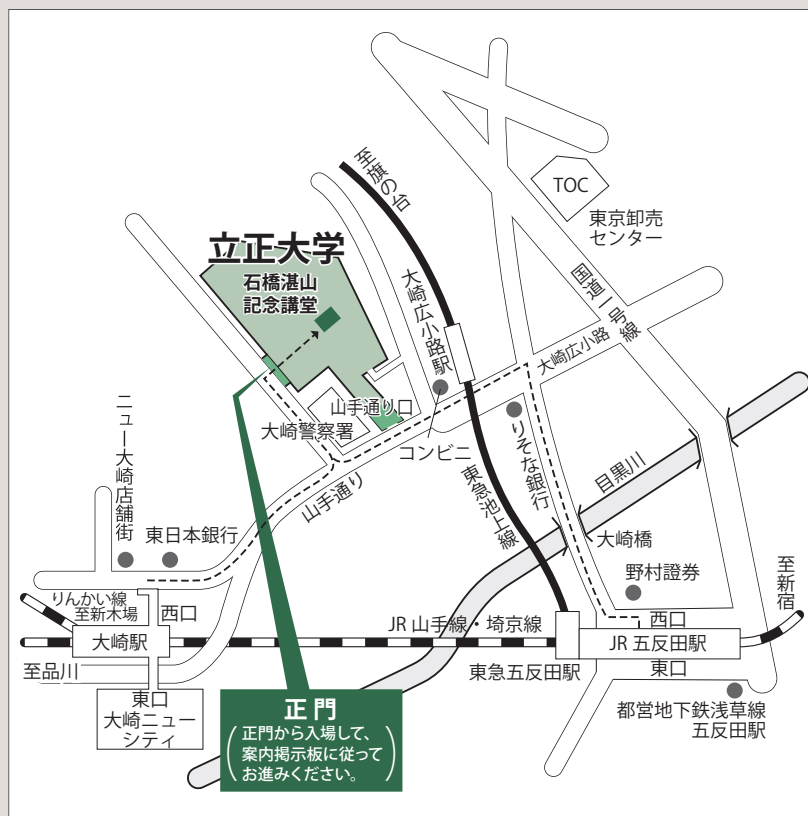
〒140-8715	品川区広町2-1-36	1. 「立正大学心理学部 公開講座」
品川区文化観光課		2. 住所
生涯学習係		3. 氏名（ふりがな）
		4. 年齢
		5. 性別
		6. 連絡先電話番号

# 会場案内

立正大学品川キャンパス

石橋湛山記念講堂（正門から入場して、案内掲示板に従ってお進みください）

〒141-8602 品川区大崎4-2-16 Tel 03-3492-6196（心理学部事務室）



※駐車・駐輪スペースがございませんので、車・バイク・自転車での来校はご遠慮ください。

## ■交通アクセス

JR 線・りんかい線	大崎駅下車	徒歩 5分
JR 線・都営浅草線	五反田駅下車	徒歩 5分
東急池上線	大崎広小路駅下車	徒歩 1分
東急バス 渋41 (渋谷駅 - 大井町駅)	大崎警察署前下車	徒歩 1分